(様式第３号)

SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

作成日：令和　4年　1月　18日　企業・団体名：株式会社エスエス

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	●		・採用、教育、昇進、登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、経営トップ（社長・工場長）が積極的に関与している。				4.4	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	●		・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	3	【ワークライフバランス】 ・男女が共に働きやすく、仕事と家庭の両立の推進などの職場環境づくりに積極的に取り組んでいる	●		・育児休暇・育児休業取得を就業規則に明記している。								8.5 8.8									
	4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別、人権侵害がないことを確認している	●		・【該当なし】外国人技能実習制度技能実習生等の受入業種でない為整備をしていない。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
	5	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	●		・社員向けの労働安全衛生講習会を定期的に実施している。			3					8									
	6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるための対策に取り組んでいる	●		・【予定】メンタルヘルスに対応した休業規則等を産業医をも含め内容を充実整備する。			3														
	7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が十分に活躍できる環境の整備や、誰もが利用しやすいサービスの提供などに取り組んでいる	●		・女性、障がい者、高齢者等が十分能力を発揮し活躍できる環境づくりの一環として工場内設備の改善・改良及び各種休暇制度の拡充、取得可能な体制を整備している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	●		・良好な職場環境の醸成や従業員のスキルアップなど、適切なマネジメントが実施出来る管理職の育成教育を実施している。				4	5.5			8	9								
	9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	●		・働き方改革関連法など、関連法令の内容を理解し、従業員（正社員、パート社員）の公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	10	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる		●	・人間ドック、インフルエンザ予防接種等経費補助を行っている。			3					8									
	11	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している		●	・生産ラインにおいては、在宅勤務等は不可能であるが、感染防止対策としてマスク着用・手洗い消毒・密を避ける為人員配置を行っている。			3					8	9.1		11	12					
	12	【デジタル化の推進】 ・労働生産性の向上を図るとともに、ウィズコロナ・アフターコロナ時代における社会・経済構造の変化に対応するため、デジタル化やオンライン化等を推進している		●									8	9.1		11	12					
環境	13	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	●		・廃棄物削減の為、調達する原材料等の包材を再処理可能な物に置き換えを図っている。又、生産ロスを出さないよう生産管理を徹底している。											11.6	12.4		14.1			
	14	【エネルギー】 ・電気やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	●		・電力使用量（319000KWH（2021年））とLPガス使用量（95960Kg（2021年））の把握をしている。 ・【予定】電力使用量の削減と平均化を図る為デマンド方式の再構築と再生可能エネルギー太陽光発電の導入を予定している。 ・【予定】LPガス使用量の削減　・効率化を図る為、高効率機器（乾燥プラント）を導入し排熱も今まで以上有効活用していく。							7.3						13				
	15	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	●		・CO2排出量（電力使用131t（2021年）、LPガス使用293t（2021年））の把握をしている。 ・【予定】電力使用によるCO2排出量の削減の為、デマンド方式の再構築と再生可能エネルギー太陽光発電の導入を予定している。 ・【予定】LPガス使用によるCO2排出量の削減の為、高効率機器（乾燥プラント）を導入し排熱も今まで以上有効活用していく。							7.2 7.3					12.4	13.3				

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	16	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	●		・生産ラインにおいては有害化学物質は使用していない。			3.9			6.3					11.6	12.4					
	17	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないよう配慮している	●		・環境に配慮した製品の提供を通じて、生物多様性の健全に努めている。自然分解型製品の提供により環境に負荷をかけない様努めている。						6.6									15		
	18	【３Rの推進】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる	●		・3Rの推進の為、主要原材料である「木粉」は全て製材副産物の「木粉」を有効活用又、食品加工時発生する未利用の残渣の利用にも取り組んでいる。												12.5		14.1			
	19	【カーボンニュートラルに向けた取組】 ・カーボンニュートラルの実現を目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる		●	・オフセットクレジット購入している。A重油をLPガスに変更することで、CO2削減（年間49．67t削減・2020/4～2021/3実績）に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2
	20	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めるとともに、高知県における水資源の質と量の保全に取り組んでいる		●	・自社にて使用する水は敷地内の井戸よりポンプアップし必要最小限(日量300L以内)に抑えている。						6.4 6.6											
	21	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格等を取得している		●				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	22	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している		●	・【予定】HP等環境状況を公開するように努める。												12.6					
	23	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー効率の向上や、再生可能エネルギーの利用・供給に取り組んでいる		●	・【予定】高効率機器（乾燥プラント）導入によりエネルギー効率化し、太陽光発電システム導入により再生可能エネルギーの利用に努める。							7.2						13				
	24	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる		●	・原料である「木粉、製材品」は全て合法材を使用していることの確認を行っている。												12.2	13	14	15		
	25	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる		●	・豆腐製造時に発生する副産物「オカラ」を原料として使用している。	1	2				6.4						12.3 12.5		14	15		17
公正な事業慣行	26	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	●		・汚職・贈収賄防止は勿論軽微な法令違反（交通違反）をも起こさないよう定期的にミーティングを実施している。																16 16.5	
	27	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	●		・法令を遵守し納入先・仕入れ先に対し地位・立場利用した不正行為に関与しないようミーティングを実施している。																16	
	28	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	●		・特許・意匠登録等知的財産権の取得・管理をしている。								8.2 8.3	9								
	29	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	●		・個人情報保護に対して保護法に基づき管理している。																16	
	30	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		●	・自社製品の原材料サプライチェーンを把握している。																16	
	31	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる		●	・取引先の活動に関心を持ち、対話・協議を通じ特に生物多様性や生態系への悪影響防止、環境保護等取り組んでいる。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
製品・サービス	32	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保する仕組みを構築している	●		・製品使用時に想定されるリスクの洗い出し、対策を実施している。製品安全確保の観点を踏まえた使用説明書を作成している。			3.9									12.4					
	33	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	●		・顧客からのクレーム対応など、アース・ペット社を含め品質を保証する仕組みを確立している。且、リコール保険に加入している。									9								

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	34	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）	●		・「木粉」をはじめとした全量リサイクル（木材製材の副産物）の原材料を使用した製品製造に取り組んでいる。 且、自然分解型で環境に負荷をかけない製品である。						6						12	13	14	15		
	35	【木質化の取組】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している		●	・販売用工事看板は全て合法木材を使用。工場内の整理・部品・工具等棚、ケースは全て木材を使用している。						6.1 6.6	7				11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	36	【社会課題解決・サービス】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		●	・生姜他加工時に発生する残渣や製紙における損紙をも有効活用している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	37	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し、適切に対応している	●		・地域との対話・見学会等定期的に実施し、事業の地域への影響の把握を行い改善に努めている。地域の環境対策事業（草刈り、ごみ拾い等）積極的に参加している。				4					9		11	12		14	15		17
	38	【社会貢献活動】 ・寄付やボランティアなど、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる		●	・地域の防災活動を始めとして、次世代を担う人材（学生・子ども等）との交流・育成に子ども会等を通じ積極的関与し場所の提供のみならず体験学習を主催している。				4							11			14	15		17
	39	【地域資源の積極的利用】 ・高知県産の原材料を優先的に使用し、地産地消・地産外商に努めている		●	・県産木材の製材時に発生する副産物で付加価値の低い「木粉」を有効活用しネコ砂とし全国に発売している。								8	9		11	12					
組織体制	40	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透している	●		・職場の掲示板等で、法令遵守の重要性を全従業員にむけ啓発・発信している。																16	
	41	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している	●		・経営理念を明文化し、経営者は、会社のあるべき姿を説明し周知徹底している。								8	9								17
	42	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している	●		・責任者（担当役員）を任命している。																16	
	43	【利害関係者との対話】 ・利害関係者（ステークホルダー）※との対話により、自社の活動が利害関係者に及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・定期的に販売店他と対話・顧客の声を大事に特にクレーム処理に関しては販売窓口のアース・ペット社と一体となり対応。製品改良にも反映している。会社のリスクヘッジの為にリコール保険加入している。																16	17
	44	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている		●	・会社の指針、生産計画、問題点等掲示しその都度啓発している。従業員が気兼ねなく発言・提言出来るように社内の雰囲気づくりに取り組んでいる。																16	
	45	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定・評価し、マネジメントするプロセスを整備している		●	・BCPを策定している。																16	
	46	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき、企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる		●																	16	
	47	【災害や事故等への備え】 ・地震や水害等の自然災害、事故、新型感染症などに備え、事業継続計画（BCP）を策定するとともに、その実効性を上げるために訓練や見直しを行うなど、事業継続マネジメント（BCM）にも取り組んでいる		●	・BCPを策定しており、今後は感染症対策等加えることを検討している。									9		11		13 13.1			16	
	48	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・後継者人選済であり、後継者としての指導・育成に取り組んでいる。								8	9								17
持続可能な社会・地方創生	49	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難計画の策定や事前防災対策を進めている	●		・BCP を策定している。				4							11.5		13.1			16	
	50	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成し、地域消防団の活動に参加したり、地域の防災力向上の取り組みを進めている		●	・経営者を先頭にそれぞれの地域で取り組んでいる。BCPを策定している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
創生	51	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている		●	・地域住民対象（自治会、婦人会、老人会、子ども会等）に既にSDGs普及啓発活動を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	52	【産業人材の確保】 ・企業の成長戦略の実現に向け、UIターン就職の促進や若者の県内就職の促進などに関する取り組み、就職氷河期世代の就職支援に関する取り組みを実施している		●	・新規学卒者の採用にむけ、高校生・専門学校生のインターンシップを積極的に受け入れている。 ・高知県移住促進、人材確保センターを通じ、都市部などからのUIターン人材を採用を図っている。				4.4				8.5 8.6									17
	53	【中山間地域を意識した取組】 ・中山間地域の振興に寄与する取り組みを実施している		●	・中山間地域で生産される製材副産物の「木粉」の活用で大いに貢献している。								8	9		11						